

社会福祉法人 京都光彩の会

# 光彩だより 令和3年春号

## 各事業所 今年度の取り組み目標

…京都市朱雀工房、ワークステーションかれん工房、西山高原工作所、グループホーム賀陽・山ノ内・光、京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

## 京都光彩の会後援会のご報告とお礼

- ・京都市朱雀工房（就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）
- ・京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
- ・こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」
- ・ワークステーション かれん工房（就労継続支援B型）
- ・相談支援事業所 こうさい（計画相談支援）
- ・西山高原工作所（就労継続支援B型）
- ・グループホーム賀陽、山ノ内、光（共同生活援助）

## 巻頭言

### 三つのAとコミュニケーションを

政府は「障害者差別解消法」の改正案を国会に提出する準備をしています。その主なポイントは、行政機関にだけ義務化されていた「合理的配慮の提供」を、民間企業等にも適用していくこととするところにあります。「障害者権利条約」では、「差別的取り扱い」はもちろん、「合理的配慮を提供しないこと」も《差別》として禁じています。おそらく、一定の期間、周知や準備のための経過措置がとられるでしょうが、法律の改正が成立すると各企業は、てんでこ舞いになることでしょうし、就労支援事業に関わる私たちの責務は重く大きくなります。

「配慮」というと「心遣い」のように、軽く考えますが、英語原文では「アコモデーション」と記されており、それは「各状況に応じた個別的調整」の意味です。これを提供するうえで、「三つのA」を念頭に置きたいものです。

一つは、アドボカシー（権利擁護）です。基本的な人権実現をあきらめ、意識できない人もいます。その願い、思いに傾聴し受けとめて、小さな声を社会に大きく伝えるマイクの役割をするものがアドボカシーです。二つ目は、ア

クセシビリティ（利用しやすさ）です。情報が届いていない、サービスが利用しづらい現状があります。「提供しましたよ」では駄目です。三つ目は、アセスメント（現状把握）です。あくまで本人が、自分の置かれている社会環境を図解的に把握して、人生設計のために、何が必要でどんな制度やサービスが使えるか把握する、そのための支援です。

これらはすべて、利用者との心のキャッチボールが基本になります。私たちはコミュニケーションのプロでありたいものです。

社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史





## 各事業所 今年度の取り組み目標

京都光彩の会の各事業が、今年度取り組みたいことについてまとめてみました。

### 京都市朱雀工房

新型コロナウイルス感染症によるご利用者への感染防止及び心身の影響を考慮しつつ、四月から、一年ぶりにストレッチ体操を復活させました。休憩後の十一時からB型支援利用者、昼休憩後の十三時から移行支援利用者の二部制で再開しました。

十五分ほどのストレッチ体操ではありますが、体力作り、健康管理、生活リズムを整えることを目的に行っています。新型コロナウイルス感染症の経過をみつつ、筋力トレーニングも復活させる予定です。

今年度も夏のボーナスキャンペーン及び冬のボーナスキャンペーンを行います。

今は、夏のボーナスキャンペーンに向けて毎週水曜日の自主製品作り、日々の作業の中で、例えば、立体マスク、マスク仮置きケース、カップアンブレラ（仮称・新製品）等に職員、利用者一丸となり準備を行っています。より良い製品を目指し、皆様に喜んでいただけるように頑張ります。お買い上げにご協力のほど宜しくお願い致します。



### ワークステーション かれん工房

ワークステーションかれん工房は、令和三年度も引き続き「利用者の皆様のお一人お一人の目標に基づいた支援」を大事に行っていきます。

その為に、運営面では新型コロナウイルス感染症対策を徹底し安全に安心して通って頂ける事業所にします。また、感染拡大等の非常事態が起こった時は「在宅訓練」という昨年から始まった新しい形も取り入れて、緊急対応を



マグカバー&コースターセット ¥500

行う予定です。

作業面については、昨年度と同様に清掃、配食、所内作業を中心に行います。感染拡大が現状の間は皆さまに半日通所をお願いしているもので、一昨年度に比べると大きく収入が減ってしまっています。が、今ある仕事は誠実に一生懸命取り組み、新しい仕事にも果敢にチャレンジすること、心をかけていきたいと考えています。自主製品事業でも新しい製品開発か今ある製品のバージョンアップが出来るのではないかなと毎日試行錯誤中です。

かれんおススメ新商品！

コロナ感染者への差別や中傷をなくそうと全国に広がるシトラスリボンプロジェクトに賛同し、オリジナルの商品を作りました！夏のボーナスキャンペーンで販売予定です☆



天然石とシトラスリボンのストラップ ¥880



### 西山高原工作所

西山高原工作所では昨年度新たに十三名の方たちとの出会いがありました。

それはスタッフにとっても新たなスキルを身につける機会への挑戦でもありました。ともに「はじめまして」から少しずつ、互いに知り合っていくことを楽しみに過ごしています。

作業についても、これまでの定番のものだけでなく、様々な下請けのお仕事にも取り組むようになりました。新しい作業が来るたびにスタッフもメンバーも一緒になって「あーだ、こーだ」言いながら、それぞれが持っている力を活かしつつ頑張っています。

す。突然やってくる新しいものへの対応にも徐々に慣れ、今ではちよつとワクワクしながら待つことが出来てきたのではないかと思います。

コロナ禍で生活を制限されたり、一方で工賃を上げるために頑張れと言われたりと、中々生きづらい世の中ですが、ここからは自由です。どんなことにも楽しんで挑める力をつけていけたらいいなと思うこの頃です。

みんなが安心して挑戦し、成長していくことのできる作業所でありたいと思います。



京都市中部障害者  
地域生活支援センター  
「なごやか」

### (一) 相談支援

京都市から委託されている

る障害者地域生活支援センターとして圏域（上京区・中京区・下京区・南区）の方の相談に応じ、必要な支援が提供されるよう考え、相談者に寄り添い実施していきます。また地域協議会やネットワークにおける役割も引き続き担い、地域での連携体制の構築等に向けて尽力していきます。

新型コロナウイルス感染症への対応についても、BCP（業務継続計画）を作成し行政機関からの指示や医療機関との連携を行い感染予防等に取り組んでいます。

(二) 京都市精神障害者地域移行促進事業

京都市における精神科病院に入院されている患者さんの更なる地域移行の促進の為に取り組みや普及啓発等を当事者、精神科病院、地域の支援者、市民等に向けて行っています。

(三) こころのふれあい交流サロン

精神障害のある方の自立と社会参加の促進を図る為、なごやかサロンの運営を継続し安心して過ごせる場を提供していただけるよう努めていきます。また各サロンへの相談員派遣や連携等にも取り組み、必要な相談窓口や支援につながっていくような相談に応じていきます。



### グループホーム 賀陽・山ノ内・光

グループホームでは今年度、レクリエーションを充実させることが目標です。

新型コロナウイルスが流行する前は、各ホームごとに入居者の皆さんの希望を聞きながら、外食や県外への外出などのレクリエーションを春、秋と年に2回程度開催していました。昨年度は新型コロナウイルスの流行に伴い外出レクなどはできませんでしたが、各ホームごとに皆さんの意見を聞きながら、いつもより少し特別な夕食を召し上

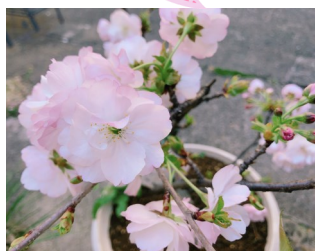
がって頂くなど、グループホーム内でレクリエーションを開催しました。三月には、賀陽の中庭に咲いている桜が満開となり、賀陽の入居者の皆さんはお花見バーベキューを楽しまれました。

まだまだ収束する様子はありませんが、三密にならない工夫をしながら、楽しい時間を一緒に過ごせるようなレクリエーションが出来るように考えていきたいと思っています。



賀陽の中庭に咲いている桜

山ノ内の入居者さんが育てておられる桜



## 「2021夏のボーナスキャンペーン」のご案内です☆(朱雀・かれん・西山より)

当法人の就労系事業所(3か所)では“自事業所の手作り製品をより多くの方に知って頂き、利用者の方の工賃向上につなげたい”という思いから「ボーナスキャンペーン」という取り組みを2014年から年に2回、夏と冬(お中元とお歳暮の時期)に共同で行っています。

当法人手作り製品の案内を京都市内の関係機関宛に配布(郵送)し、カタログ販売という形で行っています。利益は全て利用者に還元する取り組みです。

朱雀工房は布製品や有名コーヒー店とのコラボ、かれん工房はビーズ、西山高原工作所は紙の製品を主に扱っています。定番商品や限定商品など毎回楽しみながら一生懸命、開発・制作に取り組んでいます。

今回光彩だよりと夏のキャンペーンの発送が同時期になりましたのでご紹介させて頂きました。毎回ご注文いただいている皆様、いつもありがとうございます。もしご存じなかった方やご興味のある方はカタログを送付しますので京都市朱雀工房(075-813-0501)までお気軽にお問い合わせください。



## 京都光彩の会後援会のご報告とお礼

令和三年度も始まりましたが、コロナ禍での活動となり様々な困難なことも想定されますが、『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に各事業の運営や計画実施を行っていきたいと思います。

趣旨にご賛同いただき、後援会にご加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、今年度も事業運営に邁進してまいりたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も随時承っておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ●今回ご加入いただいた皆様●

瀬尾クリニック 様      井ノ口 富三 様      河越 昌子 様  
今井 利美 様      森本 直美 様      和晃技研株式会社 様

## 利用者大募集!!

### 就労 移行支援 就労 継続支援B型

京都市朱雀工房、西山高原工作所、ワークステーションかれん工房では上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

### 広報委員会 委員

田中 稔一(支援センター「なごやか」)  
都竹 桃子 (ワークステーション かれん工房)  
高橋 恒明 (京都市朱雀工房)  
中村 美恵 (支援センター「なごやか」)  
松岡 芽以 (グループホーム 賀陽・山ノ内・光)

## 編集後記

新緑と空の青さがまぶしく感じる季節になってきました。「光彩だより」をお読みいただきありがとうございます。さいました。

今回のテーマ、各事業所が取り組んでいる内容の写真を掲載することで、より法人の魅力を知っていただきたいのですが、最近個人情報等の問題で写真掲載することの難しさを感じています。また「見やすい」「読みやすさ」を心がけ、プラスいろいろな要素を取り入れながら、毎回、手にとっていただけのような「光彩だより」を作りたいとおもっています。

また、ホームページの「事業所NEWS!」では各事業所の活動や雰囲気を感じていただけます。ぜひクリックしてみてください。その他、法人の手作り製品もおすすめです。ホームページの写真にてご覧ください。

これから広報委員会では魅力あるものを発信していきたいとおもっています。

次は「夏」に発行する予定です。今から楽しみにお待ちください。(中村)

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



## 社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520  
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより  
発行: 京都光彩の会 広報委員会  
発行責任者: 中條 了  
印刷: 西山高原工作所